平成30年度長浜赤十字病院
大規模災害訓練
（多数傷病者受入訓練）

日時：平成30年11月10日(土)
場所：長浜赤十字病院敷地内

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

訓練想定

- 平成30年11月某日（土曜日）、午前８時00に、柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯を震源とする震度7の地震が発生した。倒壊家屋多数、多くの負傷者が発生している様子。
- ライフラインの一部停止により非常用発電機が稼働しましたが、電子カルテのサーバー停止のため電子カルテの使用不可状態。
- 直ちに当直医師・当直師長・事務当直は、相互に連絡をとり当直医師は大規模災害「Level：2」を宣言し、各部署から病院の被害状況を報告するように指示を出した。

点検と準備

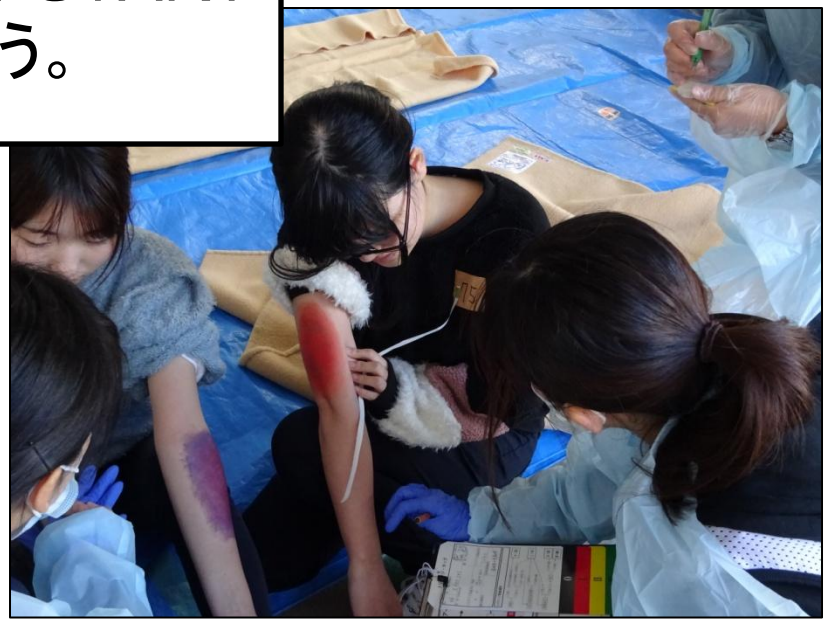
メイク班

訓練内容のスキルを決める大黒柱

搬送班
コ･メディカルで編成

トリアージエリア

担当病棟がSTART
を行う。

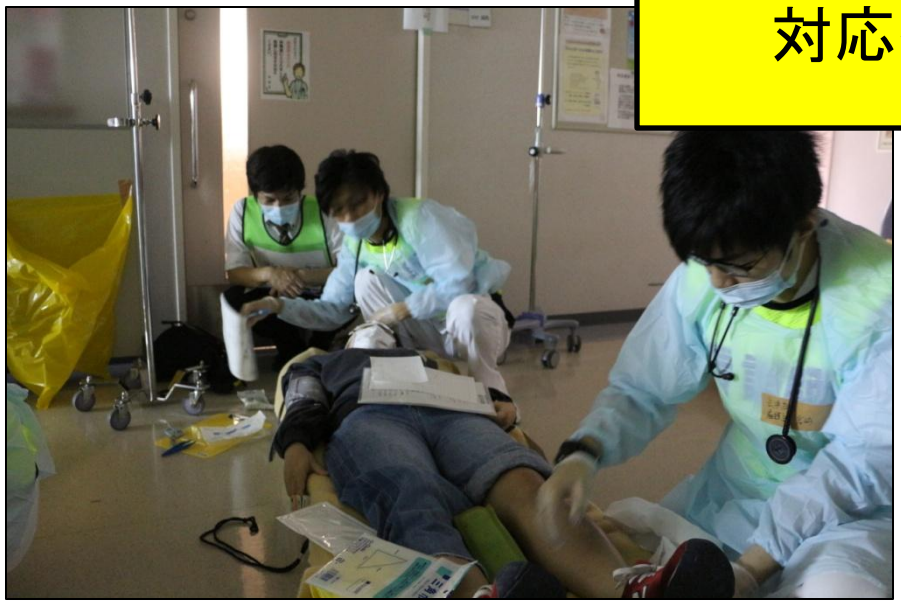


緑エリア

担当病棟が軽症者
対応を行う。

黄エリア

担当病棟が中等症
対応を行う。



赤エリア

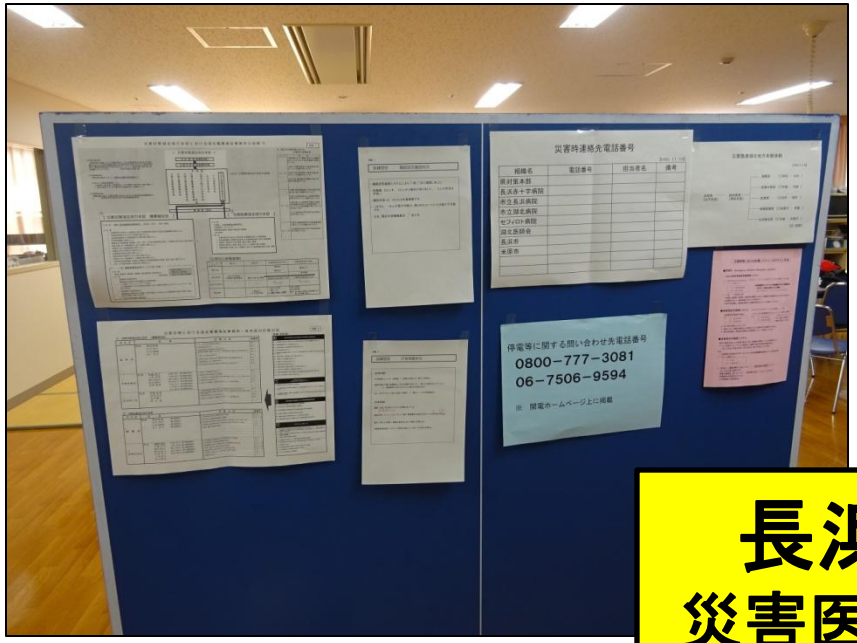
救急病棟を中心に
重症対応を行う。

観察待機エリア

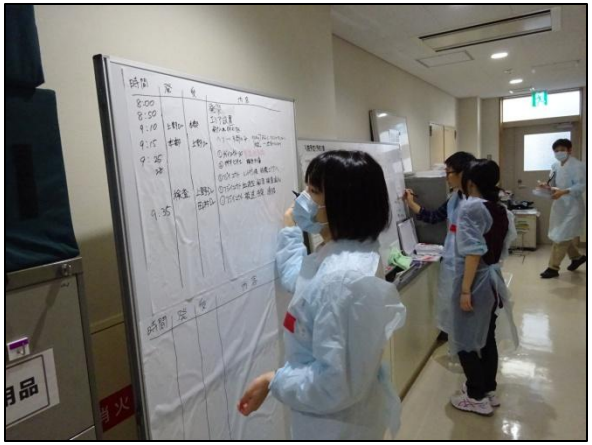
症状が安定化した傷病者を移動まで観察を行う。

災害対策本部

災害時に招集され、CSCAに基づいて活動を行う。

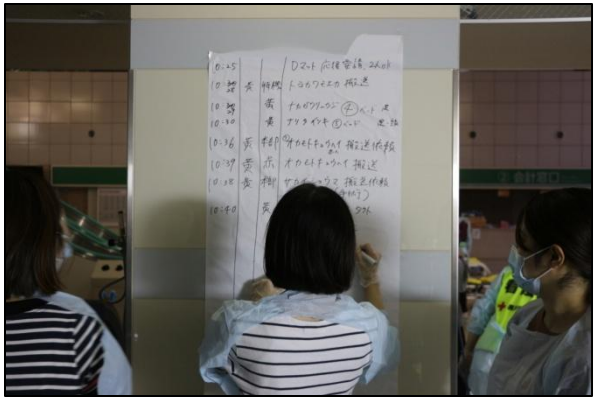


長浜保健所
災害医療地方本部
市立長浜病院
災害対策本部



記録

情報収集や現状把握を書く残す作業。



グループワーク

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

訓練参加のみなさま、お疲れさまでした。